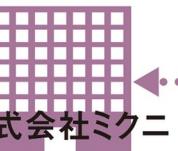


公認会計士「研修出向制度」 体験者リポート

vol. 17

取材・文／南山武志 撮影／大平晋也

新日本有限責任監査法人が2010年にスタートさせた、一般事業会社への会計士「研修出向制度」。本制度を活用し、自己成長に励む公認会計士たちのリアル・リポートをお届けする。



株式会社ミクニ



新日本有限責任監査法人

あえて大手ではなく 中堅メーカーを希望

——一般企業への出向に応募しようと思つた動機を教えてください。

富田 制度自体はできてすぐに知ったんですよ。興味がありました。社会人になつてずっと監査法人にいたので、いつか監査以外の仕事をやつてみたかった。会計はそれだけじゃないだろう、という思いも強かつたんですね。ただ、最初のうちは、出向者に求められるのはIFRS対応を中心としたので、やりたいことではなかつたですから。

最初のうちは、出向した同僚の決意したのは、3年目の募集があつた際に、1、2年目に出向した同僚の体験を躊躇していました。それは私のやりたいことではなかつたですから。決意したのは、3年目の募集があつた際に、1、2年目に出向した同僚の体験を聞く機会を設けていたので、している人もいるし、出向に当たつてどんな企業で働きたいのかという希望も、ある程度は聞いてもらえることがわかり、ならばと手を挙げました。

——どんな希望があつたのですか？

富田 超大手企業に行くと、例えば連結決算だけをやることになるのではなく、というジレンマを感じていました。せつくだたら、会社の全体が見られる環境で仕事がしたかったので、できれば中堅企業で、それまで担当することの多かったメーカーを希望しました。そういう意味では、ミクニはド

外に出たことで自分の強みと弱みが明確になつた。成長可能性の拡大を実感

株式会社ミクニ 経営企画・管理本部 経理室
富田 陽・35歳

ンピシャのマッチングでした。

——ミクニで任された仕事の中身を教えてください。

富田 入社に当たつての面接でも「監査法人ではできない仕事がしたい」という話をさせていただきました。だから、製造業の現場を知るために工場経理がいいのではないかということになり、1年目は菊川事業所（静岡県）

に配属になつたんですよ。そこでは普通の経理ベースとして、原価計算や予算作成などの業務をやりました。いきなり監査とは遠い仕事でしたけど、会計という土台があるので、細かな作業手順などを覚えてしまえば、戸惑うことほんんどありませんでした。意外だったのは、会計グループ以外の現場の人たちから、けつこう頻繁に質問

が来ること。「こんなに経費を使つた覚えはないんだけどなあ」とか（笑）。そんなことも含めて、毎日がとても新鮮だし、勉強になりました。

企業人になつて 買う本も変わつた

——本社での業務は？

富田 月次の決算をまとめ、分析して、取締役会や執行役員会そのほかで発表する資料などをつくるという、経理課に乗つたり、M&A関連のプロジェクトトチームに入つたり。

——まさに監査との違いを実感する日々ですね。

富田 監査は、投資家向けの財務諸表を相手にします。対象になるのは、あとはスポーツでいろんな会計処理の相談に乗つたり、M&A関連のプロジェクトトチームに入つたり。

——まさに監査との違いを実感する日々ですね。

富田 監査は、投資家向けの財務諸表を相手にします。対象になるのは、あとはスポーツでいろんな会計処理の相談に乗つたり、M&A関連のプロジェクトトチームに入つたり。

——まさに監査との違いを実感する日々ですね。

富田 月次の決算をまとめ、分析して、取締役会や執行役員会そのほかで発表する資料などをつくるという、経理課乗つたり、M&A関連のプロジェクトトチームに入つたり。

——まさに監査との違いを実感する日々ですね。



——般企業への出向に応募しようと思つた動機を教えてください。

富田 制度自体はできてすぐに知ったんですよ。興味がありました。社会人になつてずっと監査法人にいたので、いつか監査以外の仕事をやつてみたかった。会計はそれだけじゃないだろう、

最初のうちは、出向者に求められるのはIFRS対応を中心としたので、やりたいことではなかつたですから。

最初のうちは、出向した同僚の決意したのは、3年目の募集があつた際に、1、2年目に出向した同僚の体験を聞く機会を設けていたので、している人もいるし、出向に当たつてどんな企業で働きたいのかという希望も、ある程度は聞いてもらえることがわかり、ならばと手を挙げました。

——どんな希望があつたのですか？

富田 超大手企業に行くと、例えば連結決算だけをやることになるのではなく、というジレンマを感じていました。せつくだたら、会社の全体が見られる環境で仕事がしたかったので、できれば中堅企業で、それまで担当することの多かつたメーカーを希望しました。そういう意味では、ミクニはド

くまでも制度会計です。ところが企業経営者が最も気にかける数字は、管理会計的な、例えばその事業部門が3ヵ月後にどうなつているのか、という収益予測なのです。このギャップは、監査法人にいると認識するのが難しいと思います。監査では、すでにまとめられた数字が提出されるわけですが、その背後にあるすごい量の情報が隠れています。監査では、隠された情報が提出されることは大きなかつたのです。そのためには、会計基準で測れる以外の部分に目を向けなければダメだと体感できたのは大きな収穫でした。

——会計士の資格、経験は、会社経理での業務に役立ちますか？

富田 知識は当然として、会計士は会計基準に照らしてこの処理はこう、と筋道を立てて考へる癖がついています。提出された資料を見て短時間でポイントをつかむ力も、考えてみれば監査の仕事を通じて自然に身についたものだと気がつきました。加えて、いろんな企業の監査をやつ正在りること自体が会計士の強みなんですよ。経理のメンバーからは、「他社はどうやっているのか？」という質問もよく受けます。そういう時に引き出しを開けて、あれこれ説明できるのは、会計士ならではですね。

逆に入社以降、会計のベースがない方たちに対する説明能力の欠如を痛感させられました。それがないと、いく

くまでも制度会計です。ところが企業経営者が最も気にかける数字は、管理会計的な、例えばその事業部門が3ヵ月後にどうなつているのか、という収益予測なのです。このギャップは、監査法人にいると認識するのが難しいと思います。監査では、すでにまとめられた数字が提出されるわけですが、その背後にあるすごい量の情報が隠れています。監査では、隠された情報が提出されることは大きなかつたのです。そのためには、会計基準で測れる以外の部分に目を向けなければダメだと体感できたのは大きな収穫でした。

——会計士の資格、経験は、会社経理での業務に役立ちますか？

富田 知識は当然として、会計士は会計基準に照らしてこの処理はこう、と筋道を立てて考へる癖がついています。提出された資料を見て短時間でポイントをつかむ力も、考えてみれば監査の仕事を通じて自然に身についたものだと気がつきました。加えて、いろんな企業の監査をやつ正在りること自体が会計士の強みなんですよ。経理のメンバーからは、「他社はどうやっているのか？」という質問もよく受けます。そういう時に引き出しを開けて、あれこれ説明できるのは、会計士ならではですね。

逆に入社以降、会計のベースがない方たちに対する説明能力の欠如を痛感させられました。それがないと、いく

くまでも制度会計です。ところが企業経営者が最も気にかける数字は、管理会計的な、例えばその事業部門が3ヵ月後にどうなつているのか、という収益予測なのです。このギャップは、監査法人にいると認識するのが難しいと思います。監査では、隠された情報が提出されることは大きなかつたのです。そのためには、会計基準で測れる以外の部分に目を向けなければダメだと体感できたのは大きな収穫でした。

——会計士の資格、経験は、会社経理での業務に役立ちますか？

富田 知識は当然として、会計士は会計基準に照らしてこの処理はこう、と筋道を立てて考へる癖がついています。提出された資料を見て短時間でポイントをつかむ力も、考えてみれば監査の仕事を通じて自然に身についたものだと気がつきました。加えて、いろんな企業の監査をやつ正在りること自体が会計士の強みなんですよ。経理のメンバーからは、「他社はどうやっているのか？」という質問もよく受けます。そういう時に引き出しを開けて、あれこれ説明できるのは、会計士ならではですね。

逆に入社以降、会計のベースがない方たちに対する説明能力の欠如を痛感させられました。それがないと、いく

くまでも制度会計です。ところが企業経営者が最も気にかける数字は、管理会計的な、例えばその事業部門が3ヵ月後にどうなつているのか、という収益予測なのです。このギャップは、監査法人にいると認識するのが難しいと思います。監査では、隠された情報が提出されることは大きなかつたのです。そのためには、会計基準で測れる以外の部分に目を向けなければダメだと体感できたのは大きな収穫でした。

——会計士の資格、経験は、会社経理での業務に役立ちますか？

富田 知識は当然として、会計士は会計基準に照らしてこの処理はこう、と筋道を立てて考へる癖がついています。提出された資料を見て短時間でポイントをつかむ力も、考えてみれば監査の仕事を通じて自然に身についたものだと気がつきました。加えて、いろんな企業の監査をやつ正在りること自体が会計士の強みなんですよ。経理のメンバーからは、「他社はどうやっているのか？」という質問もよく受けます。そういう時に引き出しを開けて、あれこれ説明できるのは、会計士ならではですね。

逆に入社以降、会計のベースがない方たちに対する説明能力の欠如を痛感させられました。それがないと、いく

くまでも制度会計です。ところが企業経営者が最も気にかける数字は、管理会計的な、例えばその事業部門が3ヵ月後にどうなつているのか、という収益予測なのです。このギャップは、監査法人にいると認識のが

——会計士の資格、経験は、会社経理での業務に役立ちますか？

富田 知識は当然として、会計士は会計基準に照らしてこの処理はこう、と筋道を立てて考へる癖がついています。提出された資料を見て短時間でポイントをつかむ力も、考えてみれば監査の仕事を通じて自然に身についたものだと気がつきました。加えて、いろんな企業の監査をやつ正在りること自体が会計士の強みなんですよ。経理のメンバーからは、「他社はどうやっているのか？」という質問もよく受けます。そういう時に引き出しを開けて、あれこれ説明できるのは、会計士ならではですね。

逆に入社以降、会計のベースがない方たちに対する説明能力の欠如を痛感させられました。それがないと、いく

くまでも制度会計です。ところが企業経営者が最も気にかける数字は、管理会計的な、例えばその事業部門が3ヵ月後にどうなつているのか、という収益予測なのです。このギャップは、監査法人にいると認識が

——会計士の資格、経験は、会社経理での業務に役立ちますか？

富田 知識は当然として、会計士は会計基準に照らしてこの処理はこう、と筋道を立てて考へる癖がついています。提出された資料を見て短時間でポイントをつかむ力も、考えてみれば監査の仕事を通じて自然に身についたものだと気がつきました。加えて、いろんな企業の監査をやつ正在りること自体が会計士の強みなんですよ。経理のメンバーからは、「他社はどうやっているのか？」という質問もよく受けます。そういう時に引き出しを開けて、あれこれ説明できるのは、会計士ならではですね。

逆に入社以降、会計のベースがない方たちに対する説明能力の欠如を痛感させられました。それがないと、いく

くまでも制度会計です。ところが企業経営者が最も気にかける数字は、管理会計的な、例えばその事業部門が3ヵ月後にどうなつているのか、という収益予測なのです。この